

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信



平成18年6月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.42



西臼杵は農業体験がいっぱい

西臼杵地区では、小中学生を対象にした農業体験が各地で行われました。
高千穂土地改良区による「菜種刈り体験」、JA高千穂地区青年部上野支部による「どろりんピック」、高千穂町五ヶ村村おこしグループによる「食と農の学校」が行われました。



菜種刈り体験(高千穂土地改良区は、高千穂小学校6年生55人を対象に、「21世紀土地改良区創造運動」(水や環境の大切さについて考えてもらうことが目的)の一環で、菜種の収穫体験を実施しました。昔ながらの脱穀機や巡り棒を使つての脱穀も体験)(6月5日、高千穂町三田井)



食と農の学校(高千穂町五ヶ村)は、地域の子どもたちに、農業の魅力を伝えることを目的として、毎月17日、五ヶ村の小学校で実施されています。対象は、小・中・高の各学年です。体験内容は、おこしグループが中心となり、おこしグループのメンバーが指導を行います。



どろりんピック(JA高千穂地区青年部上野支部が魅力ある地域づくりを目的に実施している恒例行事。地元の上野小学校の5年生が学習するところから、楽しみながら田植え前の代かきを行うと、シドニー五輪時に始めたもので今年で7回目。)(6月11日、高千穂町上野)

農林水産省飼料自給率向上戦略会議

「食料・農業・農村基本計画」に掲げられた飼料自給率目標を実現するため、国、地方公共団体、農業団体等の関係者により「飼料自給率向上戦略会議」(議長：小齊平農林水産大臣政務官)が組織されており、また、農林水産省内に「農林水産省飼料自給率向上戦略会議」が設置されています。

平成18年度の「飼料自給率向上に向けた行動計画」に基づく取組の一環として、地域における実態を把握するため、同会議が6月29日から30日に県内で開催され、6月30日は高千穂町において現地検討会と現地調査が行われました。



現地調査(高千穂町上田原地区 今狩牧野営農組合)
 県単事業「遊休農地復元条件整備事業」を活用し、遊休地に電気柵を設置し、72aに7頭を放牧している取り組みを調査。
【放牧のメリット】
 ・粗飼料確保、飼育管理の手間が省けた。
 ・飼料代が大幅に軽減。
 ・牛舎内の糞尿が大幅に減った。
 ・牛が元気になった。
 ・農村としての景観が確保され、農地の保全ができた。

現地検討会(場所：高千穂アグリセンター)
 小齊平農林水産大臣政務官等の挨拶のあと、西臼杵支庁農政水産課の三好課長が「西臼杵地域の飼料自給率向上への取り組み」について、高千穂町農林振興課の戸高課長が「遊休農地を活用した牧野改良の取り組み」について説明。その後、飼料自給率向上についての意見交換が行われました。
【西臼杵地域の飼料自給率向上の取り組み】
 ・自給飼料確保対策
 ・稲わらの地域外からの確保対策
 ・放牧の推進



今狩牧野営農組合の放牧の様子



今狩牧野営農組合の伊東和美代表。放牧について「牛がいるんなことを教えてください。」と話をされていました。

放牧の推進について

西臼杵においては、今回現地調査を行った高千穂町上野の他に、昨年秋に日之影町内のクリ園2ヶ所で樹園地放牧の試験が実施されています。メリットは次のとおり。

- クリ農家 下草刈りの軽減
病害虫発生の抑制
シシ・鹿などの獣害対策
- 高齢化にも対応できる省力的なクリ栽培
- 畜産農家 除糞作業の軽減
管理の集約化
- 母牛管理の省力化、飼料自給率の向上

自給飼料確保対策、稲わらの地域外からの確保対策について

西臼杵産稲わらと地域で生産される飼料イネで、稲わらの必要量の約8割を賅っています。

また、平成14年よりJA高千穂地区が、熊本県や佐賀県の水田地帯から、稲わらロールを調達し、農家に供給するという取り組みを進めています。

平成17年には、熊本県、佐賀県から386tを確保し、地元の繁殖農家、肥育農家等へ供給しています。

平成17年 JA高千穂地区国産稲わら確保、供給状況

飼料 調達先	内容	受入重量 (t)	供給重量(t)		
			繁殖農家	肥育農家	肥育センター
熊本県	稲わらロール	66	43	23	0
佐賀県	稲わらロール	320	117	57	146
計 (構成割合)		386	160 (41%)	80 (21%)	146 (38%)

【放牧前のクリ園(10月)】



【放牧終了時のクリ園(11月下旬)】



6月は「土砂災害防止月間」です

毎年、梅雨期の6月を「土砂災害防止月間」と定め、国・県が市町村等関係機関と連携して、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制の整備推進を図るため、各種事業を行っています。以下、西臼杵地区で実施した事業について紹介します。

土砂災害防止講座

5月28日に実施された県総合防災訓練にあわせて、一般の方を対象にした土砂災害防止講座を3町において実施しました。

講座では、土砂災害の前兆現象などについての説明とともに、土石流の映像などが放映されました。



高千穂町浅ヶ部公民館で行われた土砂災害防止講座

土砂災害防止教室

子ども達に土砂災害について関心を持ってもらうため、毎年、小学生を対象に土砂災害防止教室を実施しています。

今年は、6月1日に日之影町立高巢野小学校で、6月15日に高千穂町立岩戸小学校で実施しました。



説明を行う支庁土木課甲斐主幹

各町議会との防災に関する勉強会

昨年の台風14号被害を受けて、西臼杵3町の町議会それぞれにおいて、「防災に関する勉強会」が行われました。

勉強会では、西臼杵支庁土木課の職員が昨年の台風14号による土砂災害の被害状況の他、土砂災害を防止するために進められている様々な取り組みについて説明しました。



日之影町議会との勉強会（6月9日）

災害危険箇所点検

西臼杵3町は、災害の発生を未然に防止するため台風等の出水期の前に、毎年災害危険箇所点検を行っています。

今年も、高千穂町が6月6日に、五ヶ瀬町が6月16日に、日之影町が7月4日に関係機関（役場、警察署、消防団、支庁）の職員が参加し、危険箇所の対策を検討しました。



五ヶ瀬町の災害危険箇所点検

五ヶ瀬町鞍岡の第14区公民館が 土砂災害等防災対策協議会設立

地域住民が自主的な防災活動を行うことにより、土砂災害等による被害防止及び軽減を図ることを目的とした、地域主導型の自主防災組織（五ヶ瀬町第14区土砂災害等防災対策協議会）の設立総会が、6月28日に五ヶ瀬町波帰地区公民館で行われました。

また、設立総会に先立ち、地区内にある災害危険箇所の点検や県による土砂災害防止講習会が行われ、土砂災害が起こる前兆現象等の説明がありました。

今後発生が懸念される土砂災害等に対し、有効に機能することが期待されます。



地区住民約50人が参加した第14区土砂災害等防災対策協議会設立総会

「第51回宮崎県乾しいたけ品評会」

～団体の部、個人の部で西臼杵郡の生産者大健闘～

6月6日に宮崎市のJ A A Z M大ホールで表彰式が行われました。今回の品評会には、県全体で袋物383点、箱物342点の計725点の出品があり、うち293点が入賞しました。西臼杵管内からは135点の出品があり、72点が入賞しました。西臼杵産の入賞率は53.3%と、品質の良さや安定した技術力が高く評価されました。

団体の部では、五ヶ瀬町が4年連続で第3位を、日之影町が第6位を受賞しました。

個人の部では、小椋憲二さん（五ヶ瀬町）が箱物（こうこ）の部で「農林水産大臣賞」を、箱物（どんこ）の部で「県知事賞」を受賞し、甲斐満雄さん（五ヶ瀬町）が箱物（どんこ）の部で「林野庁長官賞」を受賞しました。



農林水産大臣賞を受賞した小椋憲二さん（左）

高千穂高校女子剣道部高校総体県大会優勝

全国高校総体宮崎県大会で、4年連続25度目の優勝を果たした高千穂高校剣道部が、6月13日に優勝報告に来庁しました。

8月2日から京都市で開催される全国大会では、優勝を目指して頑張ってください。

西臼杵の全ての住民の方々が応援しています。



支庁を訪れた高千穂高校の四角目校長先生、佐伯剣道部監督と選手の皆さん

谷口浩美監督を招いて講演会

6月12日

沖電気陸上部監督の谷口浩美さんによる「やればできる」と題した五ヶ瀬町家庭教育講演会が、五ヶ瀬町民センターで行われました。保護者や教諭、地域住民など約230人が参加。

同部が、6月9日～17日に「Gパーク」で合宿を行ったことから実現。

谷口監督は、オリンピックなど世界大会で活躍した経験談を交えながら、「To teach is learn twice」（指導者は指導を通じて2度学ぶことができるが、Study(勉強する)とLearn(学ぶ)の違いがある)等の話をしていただきました。



指導法について熱心に講演する谷口浩美監督

高千穂町山附公民館農休祭

6月17日

高千穂町押方の山附公民館（富高徹公民館長）主催の「山附公民館農休祭」がホタルの里ふれあいセンターで開催されました。

同地区では毎年「渓谷ホタル祭り」を続けてきましたが、昨年の台風14号により、祭り会場はもとより生活道路や河川が大きな被害を受け、ホタルも激減しました。このため、災害復旧して再びホタルが飛び交う地区になることを願い、農休祭に名前を変更しての実施となりました。



二上神社神楽保存会による神楽奉納

高千穂町観光協会観光功労者表彰

6月28日

高千穂町観光協会は、平成18年度総会を開催し、その中で観光功労者の表彰を行いました。

個人表彰は、絶滅が危惧されるクマガイソウの保存に貢献された興相幸男さんが受賞されました。

団体表彰は、新春に全国から多くの参加者が集まる剣道錬成会を主催する「全国高等学校高千穂錬成会」とかぐら面争奪小学生バレーボール大会を主催する「西臼杵郡バレーボールスポーツ少年団育成会」が受賞されました。

特別表彰は、同協会の役員を歴任された故押方盛光さんが受賞されました。



左から甲斐哲也さん(西臼杵郡バレーボールスポーツ少年団育成会代表)、興相幸男さん、押方恒子さん(押方盛光さんの奥様)、佐伯浩美さん(全国高等学校高千穂錬成会代表)

編集後記

「どろりんピック」には、支庁農政水産課の弓削さんがスパイダーマンに変身して参加し、大会を盛り上げていました。来年はどのようなパフォーマンスを見せてくれるのか、楽しみです。「食と農の学校」に参加し、田植えをさせていただきました。私も農村育ちですので田植えは珍しくありませんが、最近では自分で植えることはありません。西臼杵の子ども達も農作業は身近に感じていると思いますが、実際に体験する機会が減っているのではないのでしょうか。このような企画を通じて、子ども達に、地域がいろんなことを教えて、伝えていくことは大事であると思います。修

* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html

100 古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

西臼杵支庁だより

西臼杵支庁バレー部「一次会」 高千穂町春季リーグBブロック優勝

6月27日

平成18年度高千穂町バレーボール協会の春季リーグ男子Bブロックにおいて、西臼杵支庁のバレーボールクラブ「一次会」が全勝優勝しました。



最終戦に出場した「一次会」のメンバー。部員は全員で25名。